

保育者の資質向上を図る
～自己評価を通して自分の保育を振り返る～

千葉県茂原市立町保保育所
主任保育士 榎本 俊美

保育所概要

定員 120名 現在籍 116名 職員数 22名 昭和55年4月1日 設立

茂原市概要

人口 90,949人 保育所数 10か所(公) 3か所(私)

1. はじめに

保育士がクラス運営をする上で、指導計画を設定し反省・評価を行い保育をすすめてきた。

保育内容や子どもの活動に対する評価・反省をしていたが、自己の評価に結びつく事ができていないという現状から自分自身の目標を設定し、自己評価をすることで保育を振り返り今後の保育の向上につなげていけたらと考えた。

2. 取り組み

- ・園内研修を通して現状をふまえた保育士の悩み・園全体の問題点についての意見交換
- ・保育士個々の「目標確認シート」を作成
- ・「目標確認シート」の内容に合わせた実践
- ・職員間で保育内容の情報交換を目的とした保育計画の掲示
- ・事例を挙げ、園全体で情報を共有し取り組みについて評価し合う
- ・自己評価をし、他者からの評価を受ける

3. まとめと課題

園内研修を行う状況が難しいため、研修内容を事前に保育士に伝えテーマを明確にすることで効率のよい話し合いができた。取り組みの中で実践した保育計画を掲示することで他クラスの活動が見え、保育士同士の情報交換ができ、保育内容の展開につながった。

また「目標確認シート」を作成することで今まで自分で考えてきた悩みや問題点を今後どのようにしたらよいかという思いを明確に文章化することで具体的な保育の方向性がみえてきた。実践した

方法や結果を自己評価し、反省点については次期につなげていけるようにする。目の前にある問題の改善、また目標を達成するための取り組みを実践したが、この内容が保育士主体になってはならない。

自己評価を通して自分の保育を振り返り、次へつなげることが保育の質の向上となっていくように保育内容の見直し・確認をしていきたいと考える。